

大楽毛では津波対策が大きく前進、津波避難ビル2棟の建設へ

次は、鳥取・新富士・昭和・星が浦・鶴野の番です

このままでは多くの逃げ遅れが出る!?

津波一時避難施設の指定拡大に取り組む釧路市。民間施設など40か所を追加指定しましたが、全く足りません。

補助率のかさ上げで、整備費の3分の2は国が負担し、残りの分についても北海道が一定の補助をするようになりました。市の負担を極力抑えて整備できます。この措置を生かして、整備対象を拡大しよう求めました。

千島海溝沿いの巨大地震と大津波

鳥取北3-5丁目
新富士町
イオン周辺以外の昭和
星が浦・鶴野

右に示した地域は極端に不足しています。

村上議員は、12月議会で指定拡大とあわせ、市による津波避難施設の建設を求めました。

大楽毛の2つの避難ビル

大楽毛に建設予定の津波避難ビルについても質問しました。

答 一つは生活館、老人福祉センターなどが入り、もう一つは消防支署と分団庁舎が入る。供用開始はできるだけ早くしたい。

問 生活館などの複合ビルは津波避難困難地域の大楽毛南につくれないか？

答 検討しているところであり、建設場所は示せない。

問 小・中学校が義務教育学校と



村上かずしげ通信 2023. 1. 1

発行 共産党議員団 23-5212



問 予定している複合ビルの中身と供用開始時期は？



なり、校舎が現中学校になれば、小学校と児童館が遠く離れることになりかねない。児童館は学校近くに整備し、支所を複合ビルに入れることはできないか？

答 施設の内容は検討中だが、支所を入れることは考えていない。

問 小学校が空き校舎となった場合、屋上を避難施設とするうえでどんな管理と活用を考えているのか？

答 適切な管理につとめる。

支所の廃止で高齢者や障がい者が困らないために

支所の廃止で、これからは住民票の交付のために、本庁まで行くこととなります。「車を持っていない」「身体が不自由」な高齢者や障がい者には本庁が大変です。

市は、4月から行政書士や司法書士、弁護士などには、事前に登録してもらい、電話で住民票の交付を請求、事務所まで届けるサービスを始めます。支所廃止に伴う対応策の一つです。



村上議員は、この新しい仕組みを支所廃止の対応策という狭い枠でとらえず、本庁までいけない高齢者や障がい者も利用できる「新しい行政サービス」として、対象を拡大するよう提案しています。そのすれば、確かに一部ですが、高齢者と障がい者の不便の解消につながります。